

## Q 漏電火災警報器の試験方法と合否判定を教えてください。

**A** ■漏電遮断器・漏電火災警報器用テスターLT-1Bによる作動電流値の試験方法  
漏電火災警報器の新設時の許容誤差は、公称作動電流値の40%から105%の範囲ですが、定期点検時の許容差は設定値の+10%~-60%(公称作動電流値の40%~110%)です。(平成25年7月25日 消防庁予防課長通知 消防予第297号)。

### ●500mA以下の公称作動電流値の試験

#### ①接続

リード線(黒)を零相変流器を通して电路に接続します。

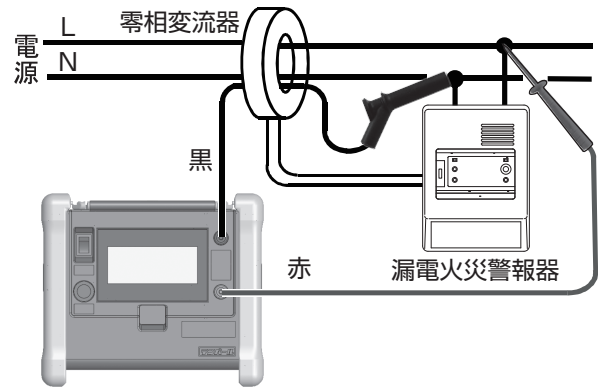
#### ②設定

試験モードの切り替えで『感度電流』、動作時間の設定で『漏火報1.0s』、感度電流の設定で漏電火災警報器の『公称作動電流値』を設定します。

#### ③試験・試験結果表示

『スタート』ボタンを押下します。

漏電火災警報器から警報音が出力された時点で『スタート』ボタンを再度押下すると、試験電流が停止し、その時の試験電流を表示します。メモにデータを追加・表示します。



### ●500mAを超える公称作動電流値の試験

#### ①接続

リード線(黒)を零相変流器に2回通して电路に接続します。

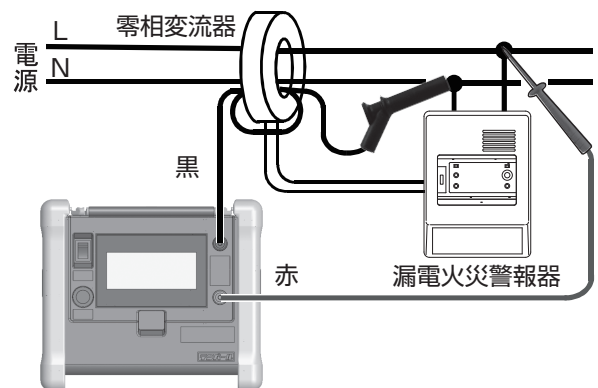
#### ②設定

試験モードと動作時間の設定は、前述と同じですが、感度電流の設定は、公称作動電流値の半分の値を設定します。

#### ③試験・試験結果表示

『スタート』ボタンを押下します。

漏電火災警報器から警報音が出た時点で『スタート』ボタンを再度押下して、試験を停止させます。メモにデータを追加・表示します。この表示値の2倍の値が作動電流値となります。



## Q 漏電火災警報器のブザーの連続鳴動寿命はどのくらいですか？

**A** 規格上、「使用電圧で8時間連続して鳴動させた場合、構造または機能に異常を生じないものであること。」となっています。その10倍以上の連続鳴動時間があるものを使用しています。

## Q 漏電火災警報器用変流器(ZCT)に「K」と「L」のマークがあるが、接続に方向性がありますか？

**A** 漏電火災警報器用変流器(ZCT)の出力はAC成分ですから、接続に方向性はありません。便宜上付けられた記号です。また、受信機の「Z0」「Z1」の接続にも方向性はありません。

(参考) 単独で販売する漏電火災警報器用変流器(ZCT)については、上記のとおり、K、Lの極性の区別はありませんが、機器内に部品として組み込む変流器には巻き線方向が要素となる場合があります。このような場合には、K、Lの区別が必要となります。適宜、ご利用ください。

※一部「K」と「L」マークのない漏電火災警報器用変流器(ZCT)もあります。

## Q 漏電火災警報器の作動電流の設定値はどのように決めればよいのですか？

**A** 公称作動電流値は、建築物の警戒電路の負荷、電線こう長等を考慮して100mA~400mA B種接地線に設けるものにあつては400mA~800mAを標準として誤報が生じない範囲内に設定します。